

南八ヶ岳・円錐形の山と鋭い岩峰を結ぶ 編笠山～権現岳

実施日 2016年9月3日(土)～4日(日)
 天候 3日晴れ/曇り 4日曇り/晴れ
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 涌井良明、石附智恵、渋谷賢寿、
 渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、
 徳山敬子 計7名
 費用 JR 10,368円(新宿起算)
 車1,414円 宿泊費8,500円
 合計20,282円
 タイム 9/3 観音平(9:35)雲海展望台(1
 0:35~40)押手川(11:25~50
 昼食)編笠山(13:15~40)青
 年小屋(14:05)泊
 9/4 小屋(6:35)ノロシバ(7:10~
 15)権現小屋(8:03~10)権現
 岳(8:15~35)三ツ頭(9:25~4
 0)木戸口公園(10:30~45)休
 (11:40~12:00)分岐(12:30~3
 5)観音平 (13:05)

台風12号の進み具合で危ぶまれた
 が悪天時の場合、岩稜帯歩きのコー
 ス変更も踏まえて決行に踏み切った。

初日am9時、参加者7名は小淵沢駅
 からジャンボタクシーで観音平へ向
 かった。

駐車場は満杯、車道にも連なって
 おり人気コースの程が伺える。

身支度を整えて笹原の樹林帯に分
 け入る。天気は上々の薄曇り、標高
 1400mの高原の涼風が心地良く秋の



訪れを感じる。
 カラマツ、ミ
 ズナラ林の山
 腹を緩やかに
 登って行くと
 雲海展望台、
 南側の展望が

開け雲海が広がる。更に進み中腹の
 押手川で早めのお昼タイム。

深い森の押手川出合は青年小屋へ



の巻き道と
 編笠山への
 直登する道
 が分かれる。
 殆どのグルー
 プが後者を選

び傾斜の強まった樹林帯を喘ぎ、息を
 整えながら高度を上げて行く。

今日一番の頑張り処、キリンソウ

に慰められ眼下
 に広がる八ヶ岳
 牧場、大泉高原
 の緑の美しさに
 癒されやがて森
 林限界を超え
 ると編笠山頂上に



立つ。
 山頂は広く
 多くのハイ
 カーで賑わ
 っている。
 展望は素晴ら
 しく富士山、

御嶽山、北から南のアルプスが雲海を従
 えて鎮座している。

青年小屋へは北東へ岩塊を慎重に2

0分程下ると
 今宵の宿に到
 着。「遠い飲
 み屋」の赤ち
 ょうちんが出
 迎えてくれ
 た。受付を済



ませ早速ビールで乾杯！青年小屋の
 御主人曰く「山小屋だからと妥協せ
 ずきちんとしたものを提供したい」
 外観は年季が入っているが清潔な小
 屋、ふかふかの布団、陶器での温かい

食事、具沢山の豚汁、ブドウ付き、緑茶の美味しかったこと。

食後薪ストーブの部屋に入るとなんと「おこた」が・・冷えた身体に有り難い。

先客の若い二人の女性客と暫し山談議。我が会のPRもバッチリ！ 8時過ぎふかふかの布団に包まり夢の中へ。

二日目 昨夜からの強風が収まらず天気も怪しい。一抹の不安が過ぎるが



出発する頃には風も弱まり青空も見え一安心！ 6:35権現岳へ向け出発。

樹林帯を抜けノロシバへ、振り返ると見事な雲海が一面に広がり編笠の奥に富士山、鳳凰三山、北岳、甲斐駒、仙丈、御嶽、中央、北アルプスのスカイラインが連なっている。

前方に立ちだかるギボシの大岩峰、ここは巻いて岩稜帯を時にクサリを頼りにトラバース、そして権現小屋に到着。赤岳方面に目を向けると阿弥陀岳が雲間から顔を出した。



権現岳は5分程、山頂は狭く二人がやっと、失礼して標識の向きをずらし漸く写真に収まった。



三つ頭まではまだまだ岩稜が続き緊張を強いられるが、ウスユキ

ソウ、ウメバチソウ、真っ赤な実を付けたナナカマド等我々を和ませてくれる。

カラマツ林を抜け緩やかな道を辿ると広場の木戸口公園に着く。少休止後、歩き易い広い尾根を軽快に下って行く。



ヘリポートを過ぎ更に進むと笹すべりの樹林帯、徐々に足の疲れを覚え幾度となく転びそうになる。笹原でゆっくりと最後の休憩を摂る。



更に下って行くと分岐に、右の観音平へ向かう。クール

ダウンの林道歩きと思いきや、最後に木段のアップダウン、100m位のジグザグの登りが待っていた。

これはサプライズ～！ 汗びっしよりのフィニッシュとなった。

前から行ってみたかったコース、天気もよし大自然に包まれ数々の絶景にも出会え感謝感激です。何より山仲間との楽しい山歩きが最高でした。 皆さん有難うございました。

又、是非ご一緒に～！！

(記・渋谷 京子)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)

